

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン三週間
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)	
海外大学院進学に向けて、本当に海外の大学院を選ぶかどうかを考えたかったため。また、今まで留学のようなハイリスクハイリターンなことには挑戦したことがなかったので、渡航による慣れない土地での生活というリスクを避け、かつ実際に渡航するよりはお金もかからないオンラインプログラムは留学への1ステップ目に適していると考えたから。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)	
日本で生活しているとそうない、ネイティブ（または第二外国語）スピーカーとの会話では、単語帳や参考書からは得られない、「会話」の部分を練習することができた。スピーキングをこんなにもみっちり練習できるのは絶対にこのプログラムならではであった。先生方が間違えてもいいからしゃべろうという雰囲気をつくってくれたため、今までの自分とは違い積極的に授業に参加し、「BEST IN SPEAKING」という目に見える結果を得ることができた。また特に、発音の面での成長があったと自分で思う。日本の英語の授業では軽視されがちな発音の部分を、IPAに関する細かい知識つまり論理的な面からも英語を学ぶことができた。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)	
メリットは、渡航と現地での生活という留学における一番の心理的負担を排除して、慣れた家でリラックスしながら英語の勉強に集中できることと、渡航費や生活費等もカットできるため、経済的負担も軽減された。また留学というものの自体初めてであった私には、画面越しであり、休憩時間はいつもの自分の家でしっかり休めることが留学へのハードルを下げてくれた。しかし逆に言えば、こうした心理的負担を経験して乗り越えて、語学力だけではない成長を見込めるのが留学なので、こうした点においては渡航型の留学よりは劣るだろう。しかし今回、自主的に授業に参加するという成長はできたので、実際に渡航する大学院に向けて準備をしていきたい。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)	
今回はフィリピンということで時差はわずか一時間であったため、それに関しては大きな問題ではなかったが、毎日コンスタントに5時間英語を話し続けなければいけないというのは少し負担ではあった。しかしそこでわたしを支えてくれたのは、父への感謝だった。今回の留学の費用は自分で出そうと思いアルバイトをして費用を貯めていたが、父が出してくれることになった。より一層頑張らなければいけないと思った。また、海外大学院進学の夢も私を支えてくれたものの一つだ。今までは安全な道を選んできたが、なんのバックグラウンドもないのに就活ではなく大学院に進学すること自体わたしにとっては大きなチャレンジだが、最後に一回本気で勉強したいという気持ちが大きなモチベーションになった。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
プログラム参加前、私は英語を学ぶ目的を「語学力を高めること」に限定的に考えていました。特にスピーキングに自信がなく、積極的に発言することへの不安が大きかったため、留学はあくまで語学練習の場だと思っていました。しかし、実際に授業に参加してみると、英語力そのもの以上に「積極的に伝えようとする姿勢」が大切だと気づきました。多少の間違いがあっても話そうとする姿勢が評価され、最終的に“Best in Speaking”に選んでいただいたことは、大きな自信になりました。この経験を通じて、言語学習は単なる知識の習得ではなく、人との交流を深める手段であるという意識に変わりました。今後は英語力を磨き続けるだけでなく、異文化理解や多様な価値観を受け入れる姿勢を培うことを目標としたいです。そして、将来は言語学の分野で学びを深め、世界中の人々と自分の言葉で対話できる人材になりたいと考えています。オンライン留学は、その第一歩を踏み出すきっかけとなりました。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンラインプログラム
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)	
私は留学経験がなく、渡航する形の留学に抵抗がありました。なぜなら日本で生活していて英語圏の訪日外国人の方から道案内を頼まれたことが何度かありましたが、いずれもうまく応答することができず、英語のスピーキングに関して弱点とを感じる経験があったからです。実際に渡航するにはハードルが高いのではないかと考えました。しかし、オンラインであれば自身にとってもハードルが高すぎず、レベルに合っていると思い、このプログラムに参加しました。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)	
私はこのオンラインプログラムで初めて本格的に発音について学びました。日本の学校ではオンラインプログラムで学んだような発音の仕方や、名称を学んだことはなく、参加以前まで誤った発音をしている単語もおおくありました。それらが間違いだと気づいた際には驚きもありました。また、発音の学習は初めて取り組む学習であったこともあり、難しいと感じることも多々ありました。しかし、日を経るに正しい発音を獲得していき、コミュニケーションの際にネイティブの相手に言葉を伝えやすくなっていると感じました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)	
このオンラインプログラムの最大のメリットはやはり日本にいながら参加することができるという点だと感じました。プログラムが終了すればいつもの日常に戻ることができ、実際に渡航するよりもストレスフリーに参加することができると思いました。 しかし、このメリットは時にはデメリットにもなり得るを感じました。現地の生徒や人々との交流がないため、学んだ英語の発音などを実践する機会は少ないと感じました。また、やはりオンラインのため、相手とコミュニケーションを取りづらいつ感じました。それが発音の問題なのか、オンラインの遅延の問題なのかかわからないことなどあり、オンラインでのコミュニケーションの難しさも感じました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)	
私のカリキュラムはグループ学習のあとに個人別の学習に進み、1 対 1 で学習するという形でした。グループ学習ではメンバーでペアを作り、お互いが性格や日々の生活などを伝えて、それを紹介するという形のアクティビティを行いました。また、グループ内で意見を発表するなどして英語の能力を伸ばしていく学習を行いました。カリキュラムの初めにグループアクティビティだったので、楽しく学習することができ、モチベーションにつながりました。また、個別での学習で学んだことをグループ学習で活かすことを目標にして個別の学習にも取り組めたので、モチベーション高く学習ができました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
プログラム参加前よりも英語を発話することへの抵抗が減りました。長い期間で英語でコミュニケーションをする経験ができたことや発音のトレーニングができたことで、発話に対して自信をつけることができました。さらに、この自信によって渡航する形の留学に対する抵抗も参加前より減り、挑戦してみたいという気持ちが自身の中で出てきました。自信や今後の挑戦心以外にも異なる文化の人々と自身が普段使う言葉とは違った言葉でコミュニケーションをとることの難しさも知ることができました。しかし、自身が知らなかった相手の国の文化を知ることや、日本の文化を英語で伝えることの楽しさも同時に知ることができました。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン研修
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)	
私は海外渡航が難しい状況の中でも、異文化理解や英語力向上を実現したいと考え、オンラインプログラムを選択しました。フィリピンの大学での学びを通して、言語面だけでなく文化や価値観を実践的に学び、日本との違いを柔軟に受け入れる姿勢を身につけることを参加目的としました。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)	
プログラムでは、フィリピンの社会や文化、生活習慣について学ぶとともに、英語での授業や現地学生との交流を通してコミュニケーション力を高めることができました。特に、自分の意見や日本文化を英語で説明する練習を重ねる中で、語彙や表現力の不足を実感すると同時に、「完璧でなくても伝える姿勢」が相手との理解を深めるうえで重要であると学びました。また、グループ活動では他の参加者の多様な考え方に触れ、自分の視野を広げるきっかけとなりました。これらの経験を通じて、英語力だけでなく異文化理解や他者と協働する姿勢を養うことができ、自らの成長を実感しました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)	
オンラインプログラムに参加して感じたメリットは、現地に渡航せずともフィリピンの大学の授業や学生との交流を体験でき、異文化理解や英語での発信力を磨けた点です。特に、事前準備や復習を自分のペースで進められるため、学習効率が高まりました。一方で、デメリットとしては、対面に比べて臨場感や非言語的なコミュニケーションに限られ、相手の雰囲気や感情を十分に感じ取れない場面があったことです。また、通信環境によってスムーズにやり取りできないこともありました。それでも、手軽に国際交流を経験できる点は大きな意義があると感じました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)	
授業中は積極的に発言や質問を心掛け、受け身にならないよう意識したことがモチベーション維持につながりました。特に、現地の学生と英語で交流する際には、事前に話題を準備しておくことで自信を持って会話に臨め、相手の反応から新たな気づきを得ることができました。さらに、終了後に学びをメモに残し、振り返りを習慣化したことも自己成長の実感を促し、継続的な学習意欲を高める要因となりました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
プログラム参加前は、英語力を高めたいという気持ちはありながらも、自分の消極的な性格から発言や質問に踏み出すことに不安を抱いていました。しかし、実際にオンライン留学を経験し、完璧でなくても自分の意見を伝えようとする姿勢が交流を深めることを実感でき、自信につながりました。今後は英語力の向上を継続的に図るとともに、異文化理解や他者との協働経験を積み重ね、国際的な場面で柔軟に対応できる力を養いたいと考えています。将来的には、今回の学びをキャリア形成に活かし、海外渡航や国際交流の機会に積極的に挑戦していきたいです。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンラインプログラム
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。(100～200 字程度)	
マンツーマンの会話指導に魅力を感じ、英語の発音やスラングを集中的に学ぶため参加を希望しました。就活中でも時間や場所を選ばず継続でき、自分の課題に合わせて柔軟に学習内容を調整できる点も、オンラインプログラムならではの大きな理由です。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(200～300 字程度)	
このプログラムに参加したことで、英語を口に出すスピードが確実に向上しました。また、発音の面でも、マンツーマンの会話練習を通じて、特に苦手としていた L と R の発音やイントネーションの付け方に改善がみられました。さらに、教科書に記載されていないような、日常会話でよく使われるスラングやネイティブらしい自然な表現も学ぶことがきました。休暇中でも英語学習を継続して取り組めたことは、自主的な学習習慣の定着にもつながり、今後の英語学習に自信を持って臨める成果になりました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(200～300 字程度)	
メリットは、毎日授業があることと少人数での指導により、短期間で効果を実感できた点です。実際に英語力が向上し、テストのスコアも大きく伸びました。マンツーマンに近い環境で弱点を集中的に克服できたことも大きな収穫でした。一方でデメリットは、機材トラブルにより時折授業が中断するなど進行が滞ることがあった点です。また、学習内容が英語に特化していたため、フィリピンの文化や社会について知る機会は限られており、文化交流の面では物足りなさを感じました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(200～300 字程度)	
1 番大きかったのは、同じ英語力の仲間とペアワークや発表を重ねることで、無理なく一步步表現力と理解力を伸ばせる環境が整っていることでした。特にグループで課題に取り組み、週ごとのテーマについてディスカッションを行う中で、他の参加者が自分の意見をどのように発表するのかを自分の発表と比べながら見られたことはとても良い刺激になりました。さらに、知らなかった言い回しや伝わりやすい構成の考え方など、実際に学んだことをすぐに次の発表に取り入れることで発表のテクニックを実践的に身につけ機会も多かったです。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
もともと海外に関わる仕事に関心はあったものの、自分の英語力に不安があり、そうした企業や職種を志望してよいか迷っていました。特にスピーキングに関しては、日本で英語を話す機会がほとんどなく、自信がありませんでした。しかし、このプログラムで毎日英語を使い、ディスカッションや課題発表を重ねる中で、英語で会話することへの恐怖感がなくなり、人前で自分の意見を英語で伝えることができるようになりました。プログラムを通して英語力の向上を実感したことで、将来は国際的な仕事に挑戦したいという気持ちが一層強まり、進路を考える上で大きな後押しとなりました。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2025 年夏季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
私がエンデラン大学のオンラインプログラムを選んだ1番の理由は個別授業とグループ授業の両方があったことです。夏季の短期留学は季節がら日本人だらけのクラスメイトと日本人 10 対教師 1 ぐらいの授業となる事が多いですが、エンデラン大学（オンライン）は毎日必ず3時間個別指導を受けられるので確実に英語力を向上出来ると思いました。また日本にいますので空き時間はバイトをしたり遊びに行ったりと自由に使えることや、3時間の個別指導と2時間の非常に少人数での授業を受けられるにも関わらず価格が16万円と非常に安いこと、オンラインなのでホームステイ先や現地でのトラブル等の心配がないことも選んだ理由の1つです。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
Accent Trainig では発音記号や単語構造について詳しく学び Tongue Twister で実践的に練習しました。理論的に発音の構造を学ぶことで聞き分けづらい言葉をより容易に聞き取れるようになったり、より自然な発音が出来ようになりました。Chatter Box では主に文法を学びました。毎回 20 個の質問から 2-3 個選んで答える時間があり、瞬時に長く自由回答をするのでその時間が1番咄嗟の英語力を鍛えられたなと思います。Oral Communication ではホテルのチェックインなど様々な日常の場面で使う英語を皆で練習しました。Social Club ではフィリピンの文化などを学びました。先生が自身の経験について話してくださったり、趣味の話で盛り上がったりととても有意義な時間を過ごすことができました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
メリットは授業以外の時間を自由に使えることです。授業後にはバイトや遊びに行ったりと息抜きをしながら出来るのがとても良かったです。また個人授業の場合は、私用や体調不良の場合、事前に連絡すれば日程を別日に変更してくださるのもオンラインプログラムだからできることなのではないかと思います。デメリットはネットの回線が上手く繋がらなかったりして授業が止まってしまうことがあることです。フィリピンは丁度雨季なので、雨が激しい日はラグが起きてしまうことが多かったです。ただ先生が接続を変更したりと臨機応変に対応してくださり、5分以上授業が止まることはありませんでした。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
時差は1時間だけなので特に気にならなかったです。オンラインの良いところは画面共有をすることで色々な学習ツールを瞬時に共有できることだと思います。分からないことがあるときには先生が瞬時に画像や辞書を画面共有して下さったり、自分が提出した課題に先生が直接書き込んで添削してくださるので、対面よりもより効率的に学習を進めることが出来ました。また四角い画面に写っている部分しか相手に見えないからこそ表情や仕草、イントネーションなどをより意識して会話をする良い練習になりました。日本人にインタビューした内容を英語でまとめる課題など日本にいるからこそできることも多くあり、オンラインプログラムを選んで良かったと思います。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
将来、絶対に留学したい、英語を使う職に就きたいといった明確な目標を持たずに参加した今回のプログラムでしたが、想像以上にとても楽しく貴重な体験が出来ました。また自分とは違う学部、学年の参加者の方々や先生方との対話を通じて、将来や英語に対する新しい視点やイントネーション、ボディラングージの重要性を学び、スピーキングに対する意識が大きく変化しました。今後はこの経験を活かし、語学試験に挑戦したり日常的に英語を使うことでさらにスピーキングスキルを磨いていきたいと考えています。また将来についてもより主体的に考え、英語を使う職業なども視野に入れていきたいです。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2025年夏季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
将来的に、仕事において英語を使用したく、そのために経験として留学に行ってみたくと考えていたが、時間、金銭的な問題で今まで参加することができなかった。そんな時、このプログラムのことを知り、3週間かつ、自宅からでも可能で、金銭的にも比較的安価であるため、参加できると考え参加した。まいた、このプログラムの講習内容も魅力的だと感じた。私は、留学に参加するのであれば、日本人同士でしゃべってしまい勉強にならないという事態を避けるため、できるだけ授業はワンツーマンの授業がいいと考えていた。できるだけ英語話者と会話する機会を増やすためである。加えて、本プログラムは発音矯正のプログラムであり、スピーキングの苦手な自分にとって最適であると考えた	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
本プログラムでは、グループワークとワンツーマンのレッスンの2セクションが毎日あったため、主に分けて二つのことを学ぶことができた。グループワークにおいては、参加している生徒は全員弊大学の生徒だったが、だからこそ、全員が先生の質問に対し、周りの姿勢をうかがう傾向にあった。そのため、先生が発言をするように促す場面が多くあった。そこで、私は生徒の中で誰よりも早く挙手し発言することを心掛けた、そのかいもあり、授業に積極的に参加することができ、発言機会を飛躍的に伸ばすことができた。発言機会が多かったことは、自分のスピーキング能力の上昇につながった。ワンツーマンの授業においては、発音をかなり入念に指導してもらえたことができたため、かなり発音を改善できた。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
メリットは、金銭面的に参加しやすいこと、ほかの仕事をしながらか参加することができること、ワンツーマンで毎日3時間先生と英語で話す期間が担保されていることである。ワンツーマンの授業は、発音をしっかり見てもらえるだけでなく、文法や、語彙についてももしっかり指導してもらえることである。ネイティブに一日三時間英語を見てもらえるのはとても勉強になった。 デメリットは、現地に行けないことで、現地特有の文化や、現地人との交流を行えないことで、授業期間以外は英語に触れることができない。日常的な英語と授業で使用するような英語はまた別物であることと、休み時間に日本に引き戻されてしまうこと、誰かの回線が悪いと、授業の進行が遅れてしまうことである。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
時差は一時間程度しかないので、ほとんどこちらの生活リズムとは変わらないと感じた。しかし、夜近くなってくると、こちらは真っ暗なのに、あちらはまだ明るいという話になったことはあった。自分は現地の状況はわからないため、先生に現地についての話を聞くことはモチベーションアップにつながった。フィリピンの文化は日本とはまた違い。お祭りなど興味深いことが聞けた。また、シニガンやアドボといった伝統料理について先生から聞いた後は、作り方をネットで調べて自分で料理することで現地気分を味わってみることも行った。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
最初と最後に英語力を測定するテストを行ったが、点数的な変化はほとんど見られなかった。しかし最後の授業前に行ったスピーキング関連のテストや事前に行ったテストは2倍近く点数が上昇したのに加え、プログラム前に行ったAI対話はプログラム前は相手の言っていることが聞き取れず、何度も聞き返してしまった。しかし、プログラム後に行うと、相手の質問がよく聞き取れ、自分の表現力、語彙力もかなり伸びているように感じた。そのため、テストで使用する英語は、回りくどかったりひっかけがあったり、正確な英語力を求めるものがあるため、点数が伸びなかったと考えた。今回のプログラムを通じて、参加前より英語話者とのコミュニケーションは取りやすくなったが、テストの点とは直接的につながらなかった。ただし、聞き取り能力は上がっていると感じているので、さらに複雑な英文を正確に理解できるように難しい英文と触れる機会を増やしたい。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2025 年夏季
オンラインプログラムを選択した理由、参加目的について記載してください。（100～200 字程度）	
私は将来の夢についてはまだ明確に決めていませんが、どのような仕事にも役立つスキルを一つでも身につけたいと考えたとき、英語を話せるようになることが思い浮かびました。国内だとリーディング中心の学習で上達には膨大な時間がかかると感じていました。それならば、英語を日常的に話す人々と直接会話したり、彼らと一緒に授業を受けたりするほうが、より効率的に英語力を高められるのではないかと考え、参加しました。	
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（200～300 字程度）	
プログラムでは、まず発音の練習と、それぞれの音に対応した口の動かし方について、一対一で毎日 1 時間、3 週間にわたりトレーニングを受けました。初めは発音に苦労しましたが、疑問点はすぐに先生に質問し、正確さを意識して学びました。休憩時間も活用して練習を重ねることで、徐々に発音が身につく感覚があり、同時に言語習得において発音は基礎であり、ネイティブの方々と丁寧に練習することが重要だと思いました。また、ネイティブと会話練習やグループセッションも毎日あり、リスニング力が向上しただけでなく、英語で自分の考えを共有する経験を通じて、英語で思考する力も養われたと感じました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（200～300 字程度）	
メリットとして、正確な発音やリスニング力を集中的に鍛えられることやトレーニングのメニューも豊富で、さまざまな状況に対応できる英語の思考力も養われると思います。また、授業日に予定が入ってしまった場合でも、事前に申し出れば補講として別日に振り替えてもらえます。 デメリットとして、先生によって指導方法が異なるため、学習効果に個人差が生じる可能性があります。私自身、インターンシップの都合で補講を受けた際、別の先生に教わることになり、進度を自分で把握しておく必要がありました。時間配分も時間によって異なるため、ある程度積極的に自分の希望を伝える必要があると感じました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（200～300 字程度）	
私は特に会話練習において語彙力の不足を感じていました。毎回異なる会話テーマに対応するため、授業の前には必ず前回の復習や次回の内容を確認するようにしていました。記憶の定着には、就寝前や起床直後が効果的だと言われているため、その時間帯に学習するよう心がけました。そうすることで私は毎日、授業で英語を話すことが楽しくなっていました。発音トレーニングでは、初めて知る発音記号やルールも多く、積極的にノートにまとめて理解を深めました。また、授業で使用するアプリには授業中のスライド写真が記録として残るため、それを授業前後に確認することで、英語力向上へのモチベーションにもつながったと感じています。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
プログラム参加前は、外部の英語試験で高得点を取ることが主な目標でしたが、今回のプログラムを通じて、英語で話すことの楽しさや魅力を実感し、将来的には英語を自分の強みの一つとして活かしたいと考えようになりました。特に学校ではリーディングやリスニング中心の学習が多い中で、スピーキングやライティングの力もコミュニケーションにおいて非常に重要であることを学びました。三週間の集中トレーニングを通じて、発音や語彙力、英語で考える力が前より向上し、自信を持って英語を話せるように感じました。今後はこのプログラムを活かし、日常的に英語に触れる習慣を継続しながら、さらに実践的な英語力を磨いていきたいです。	